

特別研究員-PD チェックシート

確認項目			
共通事項	全般的な項目	申請書を紙媒体で確認する際は、必ず電子申請システム上でPDF化された申請書で確認している。	<input type="checkbox"/>
		所定の様式以外を提出していない。	<input type="checkbox"/>
		申請書内容ファイルの各項目について、様式の変更や指定されたもの以外の項目を付け加えていない。	<input type="checkbox"/>
		申請書情報については、研究課題名も含めて全て日本語で記載している。	<input type="checkbox"/>
申請資格の確認	申請資格を満たしているか	【受入研究機関の選定】	
		受入研究機関については、 大学院博士課程在学当時 （修士課程として取り扱われる大学院博士課程前期は含まない）の 所属大学等研究機関以外 の研究機関を選定している。	<input type="checkbox"/>
		受入研究者については、 大学院博士課程在学当時の学籍上の研究指導者以外 を選定している。	<input type="checkbox"/>
		【申請機関】	
		受入研究者が申請機関(筑波大学)を本務先としている。	<input type="checkbox"/>
		【学位】※令和7年4月1日現在	
		博士の学位を 取得後5年未満 の者に該当する。（令和2年4月2日以降に学位を取得した者。申請時においては、見込みでも良い。）	<input type="checkbox"/>
		【国籍】	
	日本国籍を持つ者、又は日本に永住を許可されている外国人である。（申請時点で永住許可を取得見込みは不可）	<input type="checkbox"/>	
申請書情報のチェック箇所	⑥専門分野	誤って、「審査区分コード」（5桁数字）で入力していない。正しく漢字等で記入されている。	<input type="checkbox"/>
	⑦申請者氏名	戸籍（在留カード）上の氏名が「戸籍名」として登録されている。	<input type="checkbox"/>
		戸籍上の氏名に使用されている文字がJIS第1水準及び第2水準（JIS・X0208規格）にない文字の場合、JIS第1水準及び第2水準の文字で置き換えて入力されている。（例：高→高、崎→崎）	<input type="checkbox"/>
		申請者の戸籍上の氏名の長さが32文字を超える場合は適宜省略した戸籍名が入力されている。	<input type="checkbox"/>
	⑨博士学位取得機関の情報	編・転・再入学時の在学期間換算、休学期間について、大学の取り決めによる期間と一致している。	<input type="checkbox"/>
	⑪博士の特記事項の有無	早期修了や飛び級進学、長期履修等の状況を 記入していない 。	<input type="checkbox"/>
	⑬出身大学院の研究指導者	⑨博士学位取得機関の情報で入力した、博士課程における 学籍上の研究指導者 が入力されている。	<input type="checkbox"/>
		所属機関、部局、職名が正確に記入されている（在学・修了当時の内容で記入）。	<input type="checkbox"/>
	⑭現在の受入研究者	所属機関、部局、職名が正確に記入されている。	<input type="checkbox"/>
		申請時に大学院博士課程に在学中の場合は、「⑭出身大学院の研究指導者」と一致している。	<input type="checkbox"/>
⑮採用後の受入研究者	所属機関、部局、職名が正確に記入されている（本務先の内容である）。	<input type="checkbox"/>	
⑯申請者受入部局正式名	採用後に申請者が所属する部局の正式名が記載されている。 （例：人文社会系、国際統合睡眠医科学研究機構）	<input type="checkbox"/>	
⑰⑱評価書作成者	連絡先に記載されているメールアドレスは教員本人のもので、フリーメールではなく大学や部局の正式なアドレスである。	<input type="checkbox"/>	
【該当者のみ作成】 ⑧学歴、⑨博士学位取得機関の情報、⑩研究・職歴等別紙		申請書ページで既に記載した事項も含め、大学学部卒業以降の全履歴事項を、時系列順に申請書作成要領に従い記載している。	<input type="checkbox"/>
		申請書1ページと異なる内容を記載していない。	<input type="checkbox"/>
		右下に登録名を入力している。	<input type="checkbox"/>
	【該当者のみ入力】 特別措置希望理由書	PD申請資格審査ガイドライン及び実質的な研究機関移動のガイドラインを確認した上で理由書を入力した。	<input type="checkbox"/>
研究費調書	全体について	どの年度においても最低10万円以上となっている。	<input type="checkbox"/>
		対象とならない経費（建物等の施設に関する経費、補助事業遂行中に発生した事故・災害の処理のための経費、研究代表者の人件費・謝金等）を計上していない。	<input type="checkbox"/>
申請内容ファイル	全体について	10ポイント以上 の文字で記入している。	<input type="checkbox"/>
		日本語または英語で記入している。	<input type="checkbox"/>
		様式中の各項目について指定されたもの以外の項目の追加及び記入しない項目の省略等、様式の加工・変更をしていない。	<input type="checkbox"/>
		所定の様式に新たに用紙を加えることやページ数を変更していない。	<input type="checkbox"/>
		申請内容ファイル右下に“申請者登録名”が記載されている。	<input type="checkbox"/>
		図表などがモノクロ（グレースケール）で印刷した際にははっきりと読み取れ、意味が伝わる。	<input type="checkbox"/>

特別研究員-PD チェックシート

確認項目

申請内容ファイルの詳細について	2. 研究計画	(1) 研究の位置づけ	
		図表を含めて、1頁に収め、わかりやすく記述している。	<input type="checkbox"/>
		特別研究員として取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記述している。	<input type="checkbox"/>
		(2) 研究目的・内容等	
		図表を含めて、2頁に収め、わかりやすく記述している。	<input type="checkbox"/>
		B区分に申請する場合は、A区分の研究計画との相違点（追加的に行う研究内容）を記入している。	<input type="checkbox"/>
	①研究目的、研究方法、研究内容について記入している。	<input type="checkbox"/>	
	②どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、応募区分に応じて、具体的に記入している。	<input type="checkbox"/>	
	③研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）に触れて記入している。	<input type="checkbox"/>	
	④研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は、申請者が担当する部分を明らかにしている。	<input type="checkbox"/>	
	⑤研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関において研究に従事する事も計画している場合は、具体的に記入している。	<input type="checkbox"/>	
	(3) 受入研究室の選定理由		
	図表を含めて、1頁に収め、わかりやすく記述している。	<input type="checkbox"/>	
	①受入研究室を知ることとなったきっかけ、及び採用後の研究実施についての打合せ状況について記載している。	<input type="checkbox"/>	
	②申請の研究課題を遂行する上で、当該受入研究室で研究することのメリット、新たな発展・展開について記載している。	<input type="checkbox"/>	
3. 人権の保護及び法令等の遵守への対応	研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策や措置を講じるのか手続きの状況も含めて具体的に記述している。 例： <u>個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、行動調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など</u> 、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。 該当しない場合には、その旨記述している。	<input type="checkbox"/>	
4. 研究遂行力の自己分析	共通項目		
	2頁に収め、わかりやすく記述している。	<input type="checkbox"/>	
	申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記述している。	<input type="checkbox"/>	
	研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、観点を項目立てするなど適宜工夫して具体的に記述している。	<input type="checkbox"/>	
	(1) 研究に関する自身の強み		
	研究活動の成果物（論文等）について、自身の氏名に○をつける、下線を引くなどして目立たせてある。	<input type="checkbox"/>	
	学術論文は、 査読の有無 を区分して記載している。	<input type="checkbox"/>	
	査読有の学術論文は、採録が決定しているものである。	<input type="checkbox"/>	
	学術論文は、著者、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年を記載している。	<input type="checkbox"/>	
	研究発表は、 口頭・ポスターの別、査読の有無 を区分して記載している。	<input type="checkbox"/>	
研究発表は、著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載している。（発表予定のものは除くが、発表申込が受理されたものは記載可能。）	<input type="checkbox"/>		
5. 目指す研究者像等	1頁に収め、わかりやすく記述している。	<input type="checkbox"/>	
	目指す研究者像に向けて身に付けるべき資質も含めて記述している。	<input type="checkbox"/>	